

にほんしゃかいじぎょうだいがく
日本社会事業大学

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
社会福祉原論Ⅰ	後期 (9～1月)	月	5	16:20～17:50	若干名
スクールソーシャルワーク	9/14(月) ～ 1/29(金) (補講日含む)	木	2	10:40～12:10	
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		金	2	10:40～12:10	
子ども家庭福祉論Ⅱ		金	3	13:00～14:30	
障害者福祉論Ⅱ		金	4	14:40～16:10	

(2) 場所

日本社会事業大学 東京都清瀬市竹丘 3-1-30

西武池袋線「清瀬」駅下車

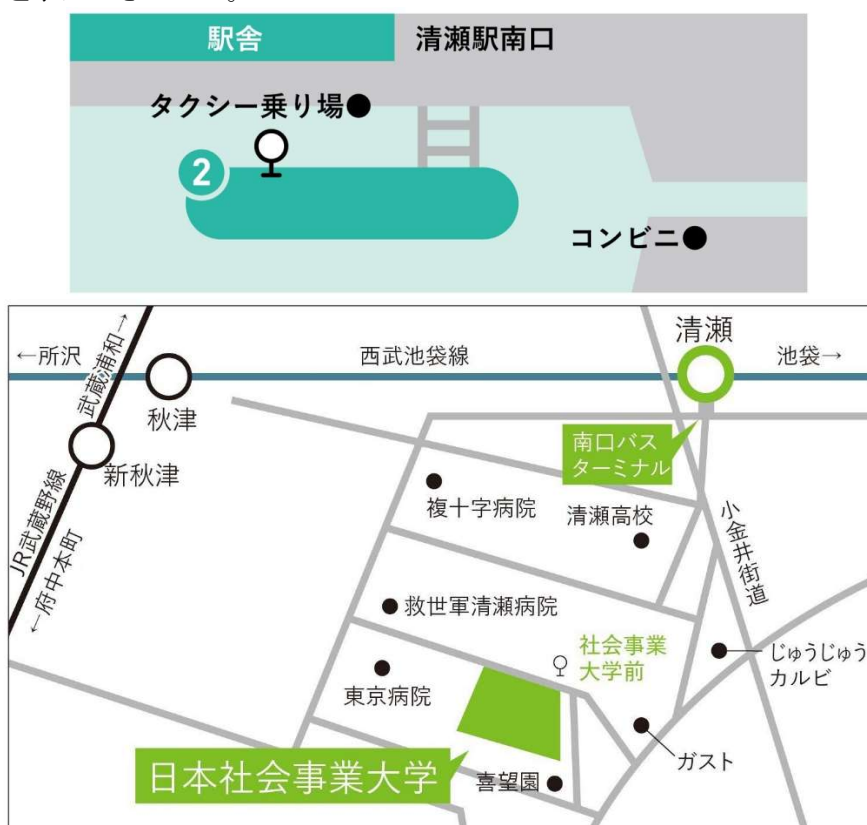
南口バスターミナル2番乗り場より、西武バスに乗車し「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ。

下里団地行（乗車時間6分）：「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ

花小金井駅行（乗車時間6分）：「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ

滝山営業所行（乗車時間6分）：「社会事業大学前」下車、徒歩すぐ

※車での通学はできません。



2 受講料等

- (1) 受講料 1科目につき 7,500 円
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 2026 年 8 月 31 日(月)
- (2) 申込先
 - 〒204-8555
 - 東京都清瀬市竹丘 3-1-30
 - 日本社会事業大学 大学教務課 開放授業講座係
 - 電 話：042-496-3107
 - E-mail：gakubu2020@jcsu.ac.jp
- (3) 申込方法
 - E-mail により、以下の事項をもれなくご記入の上、お申込みください。
 - ①郵便番号、住所
 - ②氏名（フリガナ）
 - ③生年月日、年齢（令和 8 年 4 月 1 日現在）
 - ④電話番号
 - ⑤受講希望科目（何科目でも可）
- (4) 選抜方法
 - 定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
 - 受講の可否、受講決定科目は申込者全員にお知らせします。
- (5) その他
 - 原則、対面授業を予定しておりますが、場合によって、オンライン授業（例：Zoom、課題提示）との併用になる可能性がございます。
 - この場合、学内ではなくご自宅等において、お持ちの端末で受講してください。
 - ※インターネット通信環境に関するサポート及び、端末の貸し出しはございませんので、ご了承の上、お申込みください。

4 各授業科目の概要及び担当教員

社会福祉原論Ⅰ (有村 大士教授)	社会福祉とは何かを考えるため、社会福祉の領域や専門職の概要について学んだ上で、今日の社会福祉制度や福祉専門職がどのような歴史的経緯の中で生まれてきたのか、その思想はどのように発展してきたのかを学ぶ。そして現代の社会問題、生活問題の状況と社会福祉がなすべきことについて学ぶ。
スクールソーシャルワーク (内田 宏明教授)	いじめ、不登校、発達障がい、教育の格差拡大などと表現される課題に、現代の子どもは直面している。学齢期の子どもには従来から教育職が学校教育の中で向かい合ってきた。そして、近年ではスクールカウンセラーなど心理職の活用によって対応がなされてきている。では、社会福祉の専門職はこれらの課題にどう対面していくことができるであろうか。その一つの模索としてスクールソーシャルワークが注目を集めている。本講義においては、このスクールソーシャルワークをメインテーマとして掲げつつ、福祉と教育の重なり合い（学校福祉）について探求していきたい。その探求の中で必然的に主体である子どもの権利が浮かび上がってくる。「子どもの権利」とは何か、その支援のために具体的にどのような方法で実践するのかを明確にしていきたい。また、近年大きな課題となっている子どもの貧困についても理解を深める。
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ (木戸 宜子教授)	ソーシャルワークの共通基盤となる価値・知識と技術の関係性について概観する。事例をとおして理念・原理原則・倫理などの価値、また支援のあり方について学ぶ。自らのこれまでの人生の経験や生活に近づけ、自己の価値観とも向き合いながらソーシャルワークの価値の習得を目指す。
子ども家庭福祉論Ⅱ (有村 大士教授)	子ども家庭福祉にまつわる課題について検討し、ディスカッションを通じて議論を深める。可能な限り、国際的な話題を織り込むようにし、現在、そしてこれからの支援に必要な視点を得る。
障害者福祉論Ⅱ (富永 健太郎准教授、 大部 令絵准教授、 二神 麗子講師)	障害者権利条約に規定される障害の定義等を参照しながら、障害児教育の歴史の変遷を概観し、インクルーシブ教育の国際的な動向および思想的・社会的背景とその内容および日本におけるインクルーシブ教育の受容と課題について学習する。その後、障害のある人のライフステージと教育・福祉をテーマに、多様な障害者問題とその問題への具体的な取り組みを紹介する。受講生においては、本講義を受講することにより、様々な障害者問題にたいして視野が拓かれ、当該問題にアプローチする視点が養われることを望む。